岡崎統合バイオサイエンスセンター・
総合研究大学院大学「統合生命科学教育プログラム」
サマースクール 2011

生命機能分子から生命システムの全体像に迫る

—環境のセンシングと配偶子制御—

場所：岡崎統合バイオサイエンスセンター（山手３号館２階西）・セミナー室

日時：平成２３年８月４日（木）10:00－５日（金）17:00

サマースクール・プログラム

８月４日（木）

10:00-10:30　受付、サマースクールの資料配付

10:30-10:50　センター長挨拶
　　高田慎治（岡崎統合バイオサイエンスセンター）

10:50-11:50　生殖細胞の形成機構
　　小林　悟（岡崎統合バイオサイエンスセンター）

11:50-13:30　(昼食)

13:30-14:30　マウス精子幹細胞とその制御
　　吉田松生（基礎生物学研究所）

14:30-14:40　（休憩）

14:40-15:40　精子幹細胞／精子形成のマニピュレーションと臨床応用への可能性
　　小川毅彦（横浜市立大学・大学院医学研究科）

15:40-15:50　（休憩）

15:50-16:50　生殖細胞移植を用いた魚類の発生工学
　　吉崎悟朗（東京海洋大学・海洋科学部）

17:00-19:00　研究室訪問

19:00-21:00　懇親会

８月５日（金）

9:00-10:00　プラナリアの生殖戦略転換機構
　　小林一也（慶応義塾大学・総合医科学研究センター）
10:00-10:10　（休憩）

10:10-11:10　オオミジンコの環境依存性性決定のメカニズム
　　井口泰泉（岡崎統合バイオサイエンスセンター）
11:10-11:20　（休憩）

11:20-12:20　温度センシングの分子機構
　　富永真琴（岡崎統合バイオサイエンスセンター）
12:20-13:50　（昼食）

13:50-14:50　ヘムが関与するシグナルセンシングおよびシグナル伝達の分子機構
　　青野重利（岡崎統合バイオサイエンスセンター）
14:50-15:00　（休憩）

15:00-16:00　システム生物学時代のシグナル伝達解析
　　佐藤昌直（岡崎統合バイオサイエンスセンター）

16:00-17:00　総合討論

17:00　解散